

調査票（案）

資料 2-2

I 男女の地位の平等について

問 1 あなたは次の (a) から (f) (g) の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれについて、あなたの気持ちに近いものを 1 つだけ選んで数字に○をつけてください。

| | 優男 遇性 さの れ方 てが い非 常に | れ男ど て性ち いのら る方か がと 言 優 遇え さば | 平 等 に な っ て い る | れ女ど て性ち いのら る方か がと 言 優 遇え さば | 優女 遇性 さの れ方 てが い非 常に | わ か ら な い |
|------------------------------------|--|--|--------------------------------------|--|--|-----------------------|
| ※「(b)地域社会で」の具体を入れて わかりやすくしてはどうか | | | | | | |
| (a) 家庭で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (b) 地域社会で 町内会・自治会・PTA等地域活動の場で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (c) 職場で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (d) 学校教育の場で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (e) 政治の場で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (f) 法律や制度の上で | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (g) 社会通念・慣習・しきたりなど | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

※(g)を追加してはどうか

II 結婚、家庭生活について

問 2 結婚や家庭生活について、次の (a) から (h) のような考え方について、あなたはどのように
思いますか。
それぞれについて、あてはまるものを 1 つだけ選んで数字に○をつけてください。

| | | そ う 思 う | え ど ち ら か 思 う い | な い え ど ち ら か 思 わ い | そ う 思 わ な い | わ か ら な い |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------|--------------------------------------|--|----------------------------|-----------------------|
| 結 婚 に つ い て | (a) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | (b) 夫婦別姓の結婚が認められてもよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | (c) お互いが同意すれば、必ずしも婚姻届を出す必要はない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | (d) 結婚しても相手に満足できないときは、離婚すればよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 家 庭 生 活 に つ い て | (e) 男性は外で働くもの、女性は家庭を守るものだ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | (f) 男性と女性の、どちらかが外で働いても、家事・育児・介護をしてもよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | (g) 男性も女性も、どちらも仕事と家庭を両立できるのがよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | (h) 子どもが小さいときは女性が家にいる方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

調査票（案）

問 3 現在、配偶者（夫または妻、事実婚を含む）・パートナーのいる方におたずねします。

➡ 該当しない方は問5へ

あなたの家庭では、次の（a）から（j）の項目について、主に誰が担当していますか。それぞれについて、あてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

| ※ 介護についての設問を追加してはどうか | 当夫 しが て主 いに る担 | 担 じ妻 し程 と度 夫に にと 同 | 当妻 しが て主 いに る担 | いに の妻 る担 家・ 当族 夫が 以て 主外 | 行 家 つ族 て以 い外 るが | 該 当 し な い |
|--------------------------|----------------------------|--------------------------------------|----------------------------|--|--------------------------------|-----------------------|
| (a) 掃除 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (b) 洗濯 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (c) 食事のしたく | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (d) 食事の片付け | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (e) ゴミ出し | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (f) 日常の買い物 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (g) 家計の管理 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (h) 町内会・自治会・PTA等 地域活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (i) 子どもの世話・教育・しつけ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (j) 家族の介護 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問 4 あなたの希望（理想）は、次の（a）から（j）の項目について、どのように分担するのがよいと思いますか。

それぞれについて、あてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

| | 当夫 すが る主 に 担 | 担 じ妻 す程 とる 度夫 にと 同 | 当妻 すが る主 に 担 | にの妻 担家・ 当族夫 すが以 る主外 | 行 家 う族 以外 が | 該 当 し な い |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------------------|--------------------------|---------------------------------|-------------------------|-----------------------|
| (a) 掃除 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (b) 洗濯 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (c) 食事のしたく | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (d) 食事の片付け | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (e) ゴミ出し | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (f) 日常の買い物 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (g) 家計の管理 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (h) 町内会・自治会・PTA等 地域活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | / |
| (i) 子どもの世話・教育・しつけ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| (j) 家族の介護 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

調査票（案）

男性と女性が ※ 男性に限定するのではなく、男女がともに、としてはどうか

問 5 男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 男女の役割分担について社会通念・慣習・しきたりを改めること
- 2 男性の仕事中心の生き方・考え方を改めること
- 3 企業が労働時間短縮や休暇制度の充実に努めること ※ 雰囲気をつくる、という表現があいまいだったので、具体的な表現にしてはどうか
- 4 職場において家庭生活や地域活動に参加しやすい雰囲気をつくること
上司や同僚が家庭生活や地域活動への参加に理解があること
- 5 夫婦や家族間で家事などの分担について十分に話し合うこと
- 6 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
- 7 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
- 8 子どもに家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること
- 9 その他（ ）
- 10 特に必要なことはない ※ 設問の表現を統一した方がよいのではないか
「その他」・「特にない」・「わからない」
- 11 わからない

Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問 6 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・つきあい等）」の優先度について、あなたの希望（理想）に最も近いものはどれですか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 8 わからない

問 7 あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をともに優先している
- 8 わからない

調査票（案）

Ⅳ 介護について

問 8 あなた自身に介護が必要となった場合、主に誰に介護してもらいたいと思いますか。
次の中からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

※ 誰に介護してもらいたいかは、問として必要ないのではないかと削除してはどうか

| | |
|------------|----------------------|
| 1 配偶者 | 7 その他の親族 |
| 2 息子 | 8 知人・友人 |
| 3 娘 | 9 近所の人 |
| 4 子の夫 | 10 ヘルパー等の専門家（在宅サービス） |
| 5 子の妻 | 11 施設での介護 |
| 6 自分のきょうだい | 12 その他（ ） |

問 9 現在または過去において、主として

問 8 あなたが介護している（した）方はいますか。

1 いる（いた） 2 いない

※ 以下設問番号を修正する

問 10 問 9-8で「1 いる（いた）」と答えた方におたずねします。

該当しない方は問10へ

問 9 その方とあなたの関係は、次のうちどれにあたりますか。

次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

| | |
|---------|-------------|
| 1 配偶者 | 6 配偶者のきょうだい |
| 2 配偶者の父 | 7 自分のきょうだい |
| 3 配偶者の母 | 8 その他の親族 |
| 4 自分の父 | 9 知人・友人 |
| 5 自分の母 | 10 その他（ ） |

Ⅴ 子育てについて

問 11 現在、あなたには子どもがいますか。

（成人した子どもを含みます。）

1 いる 2 いない

問 12 子どもがいる方におたずねします。

問 11 あなたの子どもは、それぞれ次のどの成長段階に何人いますか。

男女別に全員ご記入ください。

該当しない方は問13へ

| 乳幼児 （就学前） | 小学生 | 中学生 | 高校生、大学生 （専門学校生を含む） | 学校を卒業した 未婚の子ども | 結婚した 子ども |
|--------------|--------|--------|-----------------------|-------------------|-------------|
| 男（——）人 | 男（——）人 | 男（——）人 | 男（——）人 | 男（——）人 | 男（——）人 |
| 女（——）人 | 女（——）人 | 女（——）人 | 女（——）人 | 女（——）人 | 女（——）人 |

※ 子どもの性別までは必要ないのではないかと

調査票（案）

問 13 就学前の子どもがいる方におたずねします。

➡ 該当しない方は問13へ

問 12 あなたが急な用事や急病などで、子どもの世話がどうしてもできなくなったとき、子どもの世話を一時的に頼めるのは、どのようなところが考えられますか。
次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

| | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1 配偶者 | 8 友人 |
| 2 自分の両親 ※ 一人親家庭に配慮して両親を親としてはどうか | 9 公共的サービス（ショートステイ*・ファミリーサポート事業*など） |
| 3 自分の親族 | 10 民間サービス（ベビーシッター・ベビーホテルなど） |
| 4 配偶者の両親 | 11 その他〔具体的に 〕 |
| 5 配偶者の親族 | 12 特にない |
| 6 近所の人 | |
| 7 子どもを介した知人・友人 | |

* ショートステイ

18歳未満の子どもの保護者等が病気や社会的理由などで一時的に子どもの養育が困難となったとき、原則として1週間以内、乳児院・児童養護施設でその子どもを養育します。

* ファミリーサポート事業

育児を応援してほしい人（依頼会員）と応援したい人（提供会員）が育児の相互援助を行うシステム。働いている人が安心して働くことのできる環境づくりを目指しています。

問 14 人々が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるには、どんなことが必要だと思いますか。

問 13 次の中から特に必要だと思うものを5つまで選んで数字に○をつけてください。

| |
|--|
| 1 保育施設の充実 |
| 2 延長保育・病児保育など保育制度の充実 |
| 3 おやこクラブなど地域の仲間づくり組織の充実 |
| 4 放課後児童クラブなどの子育て支援の充実 |
| 5 近所の人たちからの支援 |
| 6 ファミリーサポート事業の充実 |
| 7 児童手当などの養育費の補助 |
| 8 乳幼児の医療費補助 |
| 9 父親の子育て参加 |
| 10 育児に対する家庭の理解と協力 |
| 11 母親だけでなく父親も育児休業を積極的に取得できるような職場環境 |
| 12 子育て中のフレックスタイム*勤務・短時間勤務・在宅勤務 |
| 13 出産・育児の心理的負担を軽くするための講座や相談の充実 |
| 14 一人親家庭（母子家庭・父子家庭）の支援 |
| 15 児童館などの子どもの遊び場の確保 |
| 16 その他〔具体的に 〕 |
| 17 特に必要なことはない ※ 設問の表現を統一した方がよいのではないか 「その他」「特にない」「わからない」 |
| 18 わからない |

* フレックスタイム

自由勤務時間制。規定の労働時間を守れば、出退社時間は従業員各自が自由に決められる勤務体制。

調査票（案）

VI 健康について

問 15 医療機関において、特に乳がんや子宮がんなどの検診は、どのようなことがあれば、女性が受診しやすくなると思いますか。

問 14 次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

| | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 検診時間の延長または日・祝日の検診が可能なこと |
| 2 | 医療費補助などの経済的負担が軽減されること |
| 3 | 女性又は男性の医師を選ぶことができること |
| 4 | 女性専用外来があること |
| 5 | 検診の必要性（早期発見など）についてのパンフレット等が入手できること |
| 6 | 検診を行う病院や検査項目等についての情報提供があること |
| 7 | その他〔具体的に _____ 〕 |
| 8 | 特になし |
| 9 | わからない |

※ 設問の表現を統一した方がよいのではないかと
「その他」「特になし」「わからない」

問 16 女性が子どもを産むことに関しては、さまざまな意見があります。あなたは次の（a）から

問 15 (g) の意見についてどのように思いますか。
それぞれについて、あてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

| | そう思う | ばどそちうら思かうといえ | ばどそちうら思かわないえ | そう思わない | わからない |
|--|------|--------------|--------------|--------|-------|
| ※ 語尾の表現をそろえる | | | | | |
| (a) 女性は子どもを産んでこそ一人前である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (b) 少子化によって、労働人口や年金制度の問題が生じるから女性はもっと子どもを産むべきだ である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (c) 男性・女性ともに妊娠・出産には適した年齢があるなど、知識を持った上でライフプランを選択すべきだ である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (d) ライフスタイルは多様化しているので、女性が産みたくなければ産まないことも認めるべきだ である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (e) 子どもを産むか産まないかは、夫婦・カップルがよく話し合って決めることである | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (f) 子どもを産むか産まないかは、最終的には女性自身の考えや判断を優先すべきである | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (g) 子どもを産むか産まないかは、パートナー以外の家族の意向も尊重すべきだ である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

調査票（案）

VII 配偶者等からの暴力について

問 17 あなたには現在、配偶者・パートナーや恋人がいますか。
 問 16 または過去に配偶者・パートナーや恋人がいましたか。

| | |
|----------|-------|
| 1 いる（いた） | 2 いない |
|----------|-------|

該当しない方は問 19へ

問 18 現在、配偶者・パートナーや恋人のいる方、または過去に配偶者・パートナーや恋人のいた方全員におたずねします。
 問 17 あなたはこれまでに、あなたの配偶者・パートナーや恋人（など親密な）関係の人から次の（a）から（e）のような行為を受けたことがありますか。
 それぞれについて、あてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

※ 設問内容をできるだけ簡潔にわかりやすくしてはどうか

| | 暴力の種類 | 暴力の内容 | 何度もあった | 一、二回あった | まったくくない |
|-----|-------|--|--------|---------|---------|
| (a) | 身体的 | なぐられたり、けられたり、つねられたりなど身体的な暴力を受けて怖がらされた なぐられる。けられる。刃物などの凶器を体につきつけられる。 | 1 | 2 | 3 |
| (b) | 精神的 | 大声でどなられたり、なぐるふりをしておどされたり、馬鹿にする暴言をはいたりして精神的に追いつめられた なぐるふりをして脅される。 馬鹿にされたり何を話しかけても無視される。 | 1 | 2 | 3 |
| (c) | 経済的 | 生活費を渡さなかったり、お金の使い方が必要以上に干渉されたりした 生活費を渡してくれない。お金の使い方を細かくチェックされる。 仕事を制限される。 | 1 | 2 | 3 |
| (d) | 社会的 | 電話やメールの番号やアドレス、履歴のチェックや、行動の制限・監視により束縛されたり、周りから孤立させられたりした 電話・メール・SNSを細かくチェックされる。 交友関係や行先など、行動を監視され制限される。 | 1 | 2 | 3 |
| (e) | 性的 | 避妊に協力してくれなかったり、嫌がっているのに性的な行為を強要されたり、見たくないのにポルノのビデオや雑誌を見せられたりした 性行為を強要される。避妊に協力してくれない。 見たくないポルノ雑誌・映像などを見せられる。 | 1 | 2 | 3 |

問 19 あなたが受けた問 1817の行為について誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
 問 18 次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）
 問 1817ですべての項目に「まったくくない」と答えた方もその行為を受けた場合を想定してお答えください。

| | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1 親族・親戚 | 9 他都市の相談機関 ※ 問19の表現とそろえる |
| 2 知人・友人 ※ 場所を秘匿しているため | 10 民間の相談機関（NPO法人など） |
| 3 岡山市男女共同参画相談支援センター （「さんかく岡山」内） | 11 学校・教師・養護教諭・スクールカウンセラー |
| 4 地域こども相談センター（福祉事務所内） | 12 弁護士・裁判所・法テラス等 |
| 5 こども総合相談所（児童相談所） | 13 医師・保健師・カウンセラー・医療スタッフ |
| 6 警察署 ※ 岡山市での名称を追加 | 14 その他〔具体的に〕 |
| 7 岡山県女性相談所 | 15 相談しなかった（しない） |
| 8 岡山県男女共同参画推進センター （ウィズセンター） | 〔理由〕 |

調査票（案）

問 20 配偶者等からの暴力（DV*）についての相談機関として、市内には主に次のようなものがあります。あなたはこれまでにDVの相談機関としてどれを知っていましたか。
問 19 次の中から知っているものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 岡山市男女共同参画相談支援センター（「さんかく岡山」内） ※ 場所を秘匿しているため
- 2 地域子ども相談センター（福祉事務所内） ※ 岡山市での名称を追加
- 3 警察署
- 4 岡山県女性相談所
- 5 岡山県男女共同参画推進センター（ウィズセンター）
- 6 民間の相談機関団体（NPO法人など） ※ 問18の表現とそろえる

* DV ドメスティック・バイオレンス（Domestic Violence）の略。配偶者（事実婚を含む）やパートナーからの暴力をさす。また、親密な交際相手からの暴力をデートDVという。

問 24 DV・デートDVなどの暴力を防止するためには、どのようなことが効果的または必要だと思いますか。
問 20 次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 学校などでDV・デートDVなどの暴力を防止するための教育を行う
- 2 地域でDV・デートDVなど暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
- 3 市の広報誌等を活用し、DV・デートDVなど暴力を防止するための啓発を行う
- 4 DV・デートDVなどの暴力をふるったことのある者に対し、繰り返さないための啓発や研修を行う
- 5 被害者がDVやデートDVの被害について早期に相談できるよう、相談窓口の周知を行う
- 6 DV被害について、加害者からの支配の構造やDVの種類、被害者の心への影響を正しく理解するための機会がある
- 7 DV加害について、行為の根本の原因やDV加害がもたらす影響・結果を正しく理解するための機会がある
- 8 その他〔具体的に 〕
- 9 特にない ※ 設問の表現を統一した方がよいのではないか
「その他」「特にない」「わからない」
- 10 わからない

調査票（案）

問 22 DV被害者への支援のなかで、どのような取組が効果的、または必要だと思いますか。

問 21 次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

| | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 相談窓口やDV被害者への支援の内容について、広報を行う |
| 2 | 被害者が相談する場所等における、安全やプライバシーの確保について配慮する |
| 3 | 夜間や休日の緊急対応を行う |
| 4 | 法律や心理的な面での専門的な相談が受けられる |
| 5 | メールやSNSで相談が受けられる ※ 設問に追加してはどうか |
| 6 | 被害者や子どもの安全が守られ、安心して暮らせる施設がある |
| 7 | その他 [具体的に] |
| 8 | 特にない ※ 設問の表現を統一した方がよいのではないか |
| 9 | わからない 「その他」「特にない」「わからない」 |

Ⅷ 学校教育について

問 23 市内の小中学校では、学校教育のあらゆる機会や場面を通して、児童・生徒の発達段階に

問 22 応じた男女平等教育を推進していますが、あなたは、次の（a）から（f）の取組についてどのように思いますか。

それぞれにあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

| | よいと思う | ばど よち いら とか 思と うい え | いばど よち いら とか 思と わい なえ | よい と思 わな い | わ か ら な い |
|---|-------|---------------------------------------|---|---------------------|-----------------------|
| (a) 性別に関わらず、自分の適性や興味・関心を踏まえた職業選択をすることの大切さを理解できるような授業をおこなう | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (b) メディア（テレビ・新聞など）に登場する男女の描かれ方を調べ、「男女の表現」のし方、され方への問題意識を高めることができるような授業をおこなう | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (c) 性情報への対処や性感染症などについて学習することを通じて、自分を大事にし、相手も大事にしながら生きていこうとする気持ちをもつことができるようにする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (d) 配偶者等からの暴力（DV）の実態を知り、被害者や加害者の気持ちを考えることでDVの本質を理解できるような授業をおこなう | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (e) 学校生活や家庭生活において、性別による固定的な役割分担が行われていないかを考えてみるような授業をおこなう | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (f) 男女別名簿に代えて、男女混合名簿（例えば50音順）にする 男女別名簿・呼称（さん、君など）などで、男女を分けない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

※ 名簿だけではなく、学校生活の中で教員の意識や児童・生徒への配慮について広くたずねてはどうか

調査票（案）

IX メディアを見る視点について

問 24 新聞・テレビ・インターネット上の広告や番組等を見て、あなたは、次の (a) から (d) のように感じたことがありますか。
 問 23 それぞれについて、あてはまるものを 1つだけ 選んで数字に○をつけてください。

| | よく感じる | ときどき感じる | あまり感じ たこ とは ない | ま つ た く は な い 感 じ た | わ か ら な い |
|--------------------------|-------|---------|-------------------------|--|-----------------------|
| (a) 女性や男性の役割を固定的にとらえている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (b) 男性と女性を対等に扱っていない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (c) 女性の性的側面を強調している | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (d) 女性に対する性犯罪を助長するおそれがある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

X 理想的な生き方について ※ 設問内容が複雑なので簡潔にしたい。結婚、出産等のライフステージにおいて職業をもつことについての考えが聞ければいいのではないか

次ページに修正案を掲載

問 25 「女性の生き方」として、あなたの理想に最も近いものを1～10の中から1つだけ選んで数字に○をつけてください。
 また、「男性の生き方」として、あなたの理想に最も近いものを1～10の中から1つだけ選んで数字に○をつけてください。
「女性の生き方」「男性の生き方」の両方にお答えください。

| | 女性 の 生 き 方 | 男性 の 生 き 方 |
|--|------------------------|------------------------|
| 結婚し、子どもは持たず、仕事を続ける | 1 | 1 |
| 結婚し、子どもを持ち、仕事を続ける | 2 | 2 |
| 結婚し、子どもを持ち、結婚又は出産（子の出生）を機に退職し、子育て後に再び仕事をする | 3 | 3 |
| 結婚し、子どもを持ち、結婚又は出産（子の出生）を機に退職し、その後は仕事をしない | 4 | 4 |
| 結婚を機に退職し、その後は子どもを持たず、仕事もしない | 5 | 5 |
| 結婚し、子どもを持ち、結婚前も結婚後も仕事をしない | 6 | 6 |
| 結婚し、子どもは持たず、結婚前も結婚後も仕事をしない | 7 | 7 |
| 結婚せず、子どもを持たず、仕事を続ける | 8 | 8 |
| 結婚せず、子どもを持ち、仕事を続ける | 9 | 9 |
| その他（ ） | 10 | 10 |

（注）この設問でいう「結婚」は、事実婚を含みます。

調査票（案）

問 24 一般的に職業をもつことについて、どのように思いますか。
あなたの理想に最も近いものを1～7の中から1つだけ選んで数字に○をつけてください。
「女性の生き方」「男性の生き方」の両方にお答えください。

| | 女性の 生き方 | 男性の 生き方 |
|-----------------------------------|------------|------------|
| 職業をもたない方がよい | 1 | 1 |
| 結婚するまでは職業をもつ方がよい | 2 | 2 |
| 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい | 3 | 3 |
| 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい | 4 | 4 |
| 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい | 5 | 5 |
| その他() | 6 | 6 |
| わからない | 7 | 7 |

（注）この設問でいう「結婚」は、事実婚を含みます。

調査票（案）

問 26 女性が企業や組織で働き続けるために、何が重要だと思いますか。

問 25 次の中から特に重要だと思うものを3つまで選んで数字に○をつけてください。

- 1 子育てや、家族の介護・看護を支援する公的制度の充実
- 2 企業や組織における仕事と家庭の両立支援制度の整備・充実
(育児休業制度・短時間勤務制度・事業所内託児施設の運営など)
- 3 配偶者・パートナーの理解と協力
- 4 配偶者・パートナー以外の家族の理解と協力
- 5 仕事と家庭(子育て・介護など)に関する職場の上司の理解
- 6 仕事と家庭(子育て・介護など)に関する職場の同僚の理解
- 7 女性の就労を促進しようという経営トップの意思表示
- 8 休暇がとりやすい職場の雰囲気
- 9 女性が働きやすい職場の雰囲気
- 10 女性が働きやすい職場の環境(トイレ・更衣室など)
- 11 妊娠中の仕事について職場の上司・同僚からの理解があること
- 12 残業を減らすなどの組織の取組
- 13 幅広い職務経験や教育・研修などによる女性自身のキャリアアップ・スキルアップ
- 14 昇進・昇格の機会があること
- 15 やりがいのある仕事を持つこと
- 16 職場におけるロールモデル(目指したい先輩)の存在
- 17 信頼できるメンター(相談相手・指導者)の存在
- 18 その他 [具体的に]
- 19 特にない ※ 設問の表現を統一した方がよいのではないか
- 20 わからない 「その他」「特にない」「わからない」

XI 職業・職場について

※ 配偶者・パートナーの設問は分析にも使用していない。

問 27 あなたの今の勤務形態についておたずねします。 削除してもよいのではないかと問27も同様

問 26 次の中からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。
配偶者・パートナーのいる方は、その方の勤務形態についてもお答えください。

| | あなた自身 | 配偶者・パートナー |
|------------------------------|-------|-----------|
| (a) 1 経営者・役員 | 1 | 1 |
| (b) 2 常時雇用(フルタイム) | 2 | 2 |
| (c) 3 臨時雇用・パートタイム | 3 | 3 |
| (d) 4 派遣社員 | 4 | 4 |
| (e) 5 自営業・自由業 | 5 | 5 |
| (f) 6 家族従業者 | 6 | 6 |
| (g) 7 内職 | 7 | 7 |
| (h) 8 主婦・主夫(家事専業) | 8 | 8 |
| (i) 9 学生 | 9 | 9 |
| (j) 10 その他() | 10 | 10 |
| (k) 11 無職 | 11 | 11 |
| | | いない |

調査票（案）

問 28 あなたの今の職業についておたずねします。

問 27 次の中からあてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。
 わからない場合は、(1)その他の欄に職業を具体的に書いてください。
~~配偶者・パートナーのいる方は、その方の勤務形態についてもお答えください。~~

※ 就業構造基本調査で用いている職業分類に合わせて1 管理的職業従事者を追加

| 1 管理的職業従事者 〔官庁・会社の課長以上、経営者、役員など〕 | あなた自身 | 配偶者 パートナー |
|---|---------------|---------------|
| (a) 2 専門的・技術的職業従事者 〔研究者・技術者・医師・保健師・看護師・栄養士・保育士・ 裁判官・弁護士・教員・画家・音楽家など〕 | 1 | 1 |
| (b) 3 事務事業者 〔事務・営業・集金人・事務用機器の操作員など〕 | 2 | 2 |
| (c) 4 販売従事者 〔小売店主・卸売店主・販売員・商品仕入外交員など〕 | 3 | 3 |
| (d) 5 サービス職業従事者 〔美容師・クリーニング師・調理人・給仕・ビル管理人など〕 | 4 | 4 |
| (e) 6 保安職業従事者〔警察官・消防員・警備員など〕 | 5 | 5 |
| (f) 7 農林漁業従事者 | 6 | 6 |
| (g) 8 生産工程従事者〔製鉄工・食料品製造工など〕 | 7 | 7 |
| (h) 9 輸送・機械運転従事者〔運転者・ボイラー技士など〕 | 8 | 8 |
| (i) 10 建設・採掘従事者〔大工・土木士・砂利採取作業員など〕 | 9 | 9 |
| (j) 11 運搬・清掃・包装等従事者〔配達員・清掃員・包装工など〕 | 10 | 10 |
| (k) 12 その他（ ） | 11 | 11 |
| ※ 勤務形態については問26でたずねている。 時間までは必要がないので、削除してもよいのではないか | | いない |

~~問 29 問 27の「あなた自身」の欄で、1から7を選んだ方におたずねします。~~

~~あなたは、通常、1週間に何日間働いていますか。
また、合計で何時間働いていますか。~~

| | |
|-----------------------|------------------------|
| (a) 日数（ ）日 | (b) 時間（ ）時間 |
|-----------------------|------------------------|

~~問 30 問 2726の「あなた自身」の欄で、1から7を選んだ方におたずねします。~~

問 28 あなたが働いている主な理由は何ですか。 ➡ 該当しない方は問31へ
 次の中からあてはまるものを3つまで選んで数字に○をつけてください。

| | |
|---|---|
| 1 生計を維持するため 2 子どもの学資など家計の足しにするため 3 自分のものは自分のお金で買うため 4 老後など将来に備えて 5 自分の能力や資格を生かすため 6 社会に貢献するため 7 家業であるから 8 働くことが楽しいから 9 人と接したり仲間を得るため 10 その他〔具体的に | 〕 |
|---|---|

調査票（案）

問 31 問 2726の「あなた自身」の欄で、1から7を選んだ方におたずねします。

問 29 あなたの今の職場では、性別により、どのような扱いをされていると思いますか。
次の1、2のうちどちらかひとつを選んで○をつけてください。

- 1 性別により不当な扱いをされていると思う
- 2 性別にかかわらず、平等に扱われていると思う

問 32 問 3129で1を選んだ方におたずねします。

問 30 性別による不平等な扱いの具体的な内容はどのようなことですか。
次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 賃金に差がある
- 2 昇給・昇格に差がある
- 3 能力が正当に評価されない **※ 設問4「させてもらえない」という表現から、女性目線での設問になっているので修正してはどうか**
- 4 補助的な仕事しかさせてもらえない
仕事の量や質に差がある
- 5 教育・訓練を受ける機会に差がある
- 6 休暇の取りやすさに差がある
- 7 残業時間に差がある
- 8 転勤の機会に差がある
- 9 結婚したり子どもが産まれたりすると退職しなければならない
- 10 性的なことから嫌がらせを受ける（セクシャル・ハラスメント）
- 11 年齢による嫌がらせを受ける
- 12 育児・介護に関する休暇が取りにくい
- 13 その他〔具体的に 〕

XII 男女共同参画の推進について

問 33 あなたは、「さんかく岡山」*を知っていますか。また利用したことがありますか。

問 31 あてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。

- 1 利用したことがある
- 2 あるのは知っているが利用したことはない
- 3 知らない

*さんかく岡山 北区表町三丁目に開設している岡山市男女共同参画社会推進センターの愛称。

調査票（案）

問 34 あなたは、「さんかく岡山」にどのような役割を期待しますか。

問 32 次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

| | | | |
|---|-----------------------------|----|--|
| 1 | 男女共同参画に関する幅広い情報、書籍資料等の収集・提供 | 8 | 自主的な学習活動・NPO・ボランティアの活動支援 |
| 2 | 講演会、シンポジウム、フォーラム等の企画、開催 | 9 | 女性の人材育成 |
| 3 | 相談機能の充実 | 10 | 出前講座の充実 ※ 出前講座の充実を追加してはどうか |
| 4 | 男性向けの講座等の充実 | 11 | その他〔具体的に〕 |
| 5 | 交流の場 | 12 | 特にない ※ 設問の表現を統一した方がよいのではないかと 「その他」「特にない」「わからない」 |
| 6 | 調査・研究機能の充実 | 13 | わからない |
| 7 | 再就職に向けてのパソコン講座等による女性の就業支援 | | |

※ 平成31年4月の「さんかく条例」改正において、災害対策における男女共同参画についての条文を追加していることから、今後の対応・対策として必要なことをたずねてはどうか

問 33 あなたは、平時の防災体制や災害発生後の対応において男女共同参画の視点からどのようなことが必要だと思いますか。
次の中からあてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

| | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 防災や復興の政策・方針を決める過程に男女がともに参画する |
| 2 | 町内会・自治会や地域の自主防災組織の運営に携わる女性を増やす |
| 3 | 平時から性別に配慮した防災訓練を行う |
| 4 | 性別によって異なる災害時の備えについて知識を普及する |
| 5 | 性別に配慮した避難所運営を行う（更衣室、プライバシーの確保など） |
| 6 | 避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を性別で固定せずに分担する |
| 7 | 災害発生時における女性の相談体制を整備する |
| 8 | 災害発生後に増加が懸念される性暴力やDVへの対応を強化する |
| 10 | その他〔 〕 |
| 11 | 特にない |
| 12 | わからない |

調査票（案）

※ 男女共同参画の視点がわかりにくい設問が多い。
女性活躍の推進の視点からの設問が少ない等ことから、設問を検討した。
次ページに修正案を掲載

問 35 岡山市では、性別等にかかわらず、あらゆる人が、共に自立し責任を分かち合い豊かで安心して暮らせる男女共同参画社会の実現を目指しています。
今後、このような社会の実現を推進するうえで、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。
次の中から選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1 学校で男女平等意識を育てる教育を充実する
- 2 生涯学習の場において、男女平等を進める機会を充実する
- 3 男女共同参画に関する情報提供、研究などを充実する
- 4 LGBT*など、さまざまな性の正しい理解に関する情報提供を充実する
- 5 配偶者等からの暴力（DV）の被害者のための相談窓口や施設を充実する
- 6 配偶者等からの暴力（DV）の加害者をケアする体制を充実する
- 7 男性のための相談体制を整備する
- 8 育児・保育施設などを充実する
- 9 子どもへの暴力を防止するための体制を充実する
- 10 家庭内暴力や引きこもりなどに対する相談窓口を充実する
- 11 高齢者や障害者のための施設や在宅介護サービスを充実する
- 12 高齢者への暴力を防止するための体制を充実する
- 13 要介護者を抱える家族への支援体制を充実する
- 14 妊娠・出産に限らず、女性の健康についての相談窓口を充実する
- 15 政策や方針決定過程への女性の参画を拡充する
- 16 各国の人々との交流や情報収集など国際交流を推進する
- 17 男女の扱いの不平等について相談できる体制を整備する
- 18 その他 [具体的に]

L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダー。

* L G B T 自身の身体の性別と同じ性別の人を好きになる人々、身体の性別と心の性別が異なる人々などの総称。
子どもの頃から、性別に関する悩みを持ったり、いじめを受けたりする例が多いことが知られている。

調査票（案）

- 問 35 岡山市では、性別等（追加）にかかわらず、あらゆる人が、共に自立し責任を分かち合い豊かで安心して暮らせる男女共同参画社会の実現を目指しています。
- 問 34 今後、このような社会の実現を推進するうえで、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から**あてはまるものを3つまで**選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

| | |
|----|---|
| 1 | 男女平等意識を育てる学校教育や生涯学習の機会を充実する |
| 2 | 女性に対する暴力を根絶するための取組を充実する |
| 3 | 女性のための相談機能を充実する |
| 4 | 男性への意識啓発及び相談機能を充実する |
| 5 | 生涯を通じた女性の健康保持を支援する |
| 6 | LGBT*など、さまざまな性の正しい理解に関する情報提供を充実する |
| 7 | 男女共同参画の視点から、慣習の見直しや啓発を進める |
| 8 | 自治会・PTAなど地域活動の場で女性の参画を拡充する |
| 9 | 国際的な取組等についての情報提供及び啓発を充実する |
| 10 | 職場における女性活躍を推進する |
| 11 | 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める |
| 12 | 男女がともに仕事と子育て、介護など両立できる環境を整備する |
| 13 | 出産、育児等により離職した女性に対する再就職等を支援する |
| 14 | 政策や方針決定過程への女性の参画を拡充する |
| 15 | 政治分野での女性の参画を拡充する |
| 16 | その他〔具体的に 〕 |
| 17 | 特にない |
| 18 | わからない |

*LGBT
L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダーの頭文字を並べたもの。
なお、「性的マイノリティ」とほぼ同じく、この4つにあてはまらない広い意味でも用いられています。
ひとの性のあり方は「からだの性」「こころの性（性自認）」「好きになる性（性的指向）」「性役割（女らしさ、男らしさ）」など様々な要素で構成されます。これらの要素は「女」「男」に二分できないグラデーションになっていて、一人ひとり異なります（性の多様性）。
こうした性のあり方は人格の重要な要素で、無理に変えることはできませんし、変える必要はありません。
現在の日本では「からだの性とこころの性は同じ」「異性を好きになる」などの前提に当てはまらない人は、人生の様々な場面で悩みを抱えることがあります。

※「さんかく条例」リーフレット中の「性の多様性」説明文を引用

- 問 36 男女共同参画についてご意見や日頃感じておられることがありましたら、ご自由にお書きください
- 問 35

| |
|--|
| |
|--|

調査票（案）

最後にあなた自身についてお伺いします。
統計分析のために必要ですのでよろしくお願いします。

A あなたの性別・・・（ ） ※ 本人に記入してもらう形式に修正

削除 1 女性 2 男性 3 その他（ ）

B あなたの年齢 ※ 今回の調査年月日に合わせて修正

令和2年(2020年)7月1日現在 満（ ）歳

C あなたは結婚されていますか

- 1 既 婚（配偶者あり）
- 2 既 婚（死別・離別）
- 3 事実婚
- 4 未 婚

D 家族構成

今、あなたは一緒に暮らしているご家族がいらっしゃいますか。
あてはまるものを選んで数字に○をつけてください。（○はいくつでも）

- | | | | | | |
|---|--|---------|----|---------|-------------------|
| 1 | 同居者はいない（ひとり暮らし） | 7 | 6 | 孫 | |
| 2 | 配偶者（夫または妻、事実婚を含む） | 8 | 7 | 自分の祖父母 | |
| 3 | 息子 } 子ども | 9 | 8 | 配偶者の祖父母 | |
| 4 | 娘 } ※ 性別は必要ないので、 まとめて子どもとしてはどうか | 10 | 9 | 子どもの配偶者 | |
| 5 | 4 | 自分の父、母 | 11 | 10 | 兄弟姉妹（配偶者の兄弟姉妹を含む） |
| 6 | 5 | 配偶者の父、母 | 12 | 11 | その他（ ） |

~~E 世帯収入 ※ E 世帯収入の設問は分析にも使用していない。削除してもよいのではないかと~~

~~過去1年間の、あなたの家族全員（生計をともにしている家族）の収入の合計額は、税込みで
次の中のどれに近いでしょうか。
あてはまるものを1つだけ選んで数字に○をつけてください。~~

- | | | | |
|---|-------------|---|-----------------|
| 1 | 収入なし | 5 | 400～700万円未満 |
| 2 | 130万円未満 | 6 | 700～1,000万円未満 |
| 3 | 130～200万円未満 | 7 | 1,000～1,500万円未満 |
| 4 | 200～400万円未満 | 8 | 1,500万円以上 |

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、記入もれがないか再度ご確認のうえ、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて
○月○日（○）までにお近くのポストに投函してください。